

令和7年度 北信地区図書館教育研究大会（更埴支部）実施報告

1 期日 令和7年10月16日（木）

2 会場 千曲市立更級小学校・千曲市立戸倉上山田中学校

3 主催 長野県図書館協会
長野県図書館協会小中部会
長野県図書館協会小中部会更埴支部

4 後援 千曲市教育委員会 坂城町教育委員会
更埴郡市校長会 更埴教育会

5 大会テーマ 「図書館の情報センターとしての役割を充実させるために」

6 日程の概略

	内容	更級小学校	戸倉上山田中学校
1	受付	12:50~13:10	
2	開会行事（一部オンライン）	13:10~13:20	
3	公開授業	13:30~14:15	13:30~14:20
4	情報交換・指導主事からの情報提供	14:30~15:00	
	休憩		
5	講演会（オンライン）	15:10~16:30	
6	閉会行事	16:30~16:40	
7	解散	16:40	

7 公開授業

会場校	授業学級・授業者	教科・単元名
更級小学校	3年1組・小澤 新正 教諭	国語「お気に入りの本を紹介しよう」
戸倉上山田中学校	3年3組 小野 優 教諭	国語「説得力のある構成を考えよう」

8 講演会について（オンライン）

講師：くすのき しげのり 先生

演題：「一人ひとりがみんなたいせつ～作品に託す願い～」

9 当日の参加人数

更級会場：11名 戸倉上山田会場：9名 オンライン視聴（講演会のみ）：18名

※授業校職員は、人数に含まれていない

10 参加者の感想より

(1) 研究授業

① 更級小学校

本日は参観させていただきありがとうございました。おすすめの1冊を紹介しようということで、1年生にしようと対象がしほらされていることで、児童も考えやすかったと思います。また、イチオシポイントをじっくり考えることで、とても読みたくなるような紹介文が書けていました。図書館も、あちこちに児童の紹介POPや作品、先生のおすすめ本など本を借りたくなる工夫がたくさんあり、勉強になりました。掲示もわかりやすく、素敵な図書館でした。

先ずは、参加させて頂きありがとうございました。忙しい中、担当校である校長、教頭先生はじめ、担任の先生、司書の方が前もって準備をされ当日を迎えたのが良く分かる大会、授業でした。スムーズに理解し進め、出来上がりを発表してくれるグループ、真面目にコツコツグループ、ゆっくりグループ、真ん中にスポーツの好きそうな少し本は…メンバー。それぞれの子供達が、おすすめ本の良さを友達にわかって貰えるように頭を捻っている様はちらも応援したくなりました。友達同士助け助けられ、その子自身ひとり一人が45分の中で進める事が出来るバランスの取れたクラスだなと感じました。更級の3年生良いクラスだなと思います。



②戸倉上山田中学校

戸倉上山田中学校での公開授業を見学させていただきました。松尾芭蕉の「おくのほそ道」の経路から実際の旅行プランを考えるという興味深いものでした。授業後に主事の小林先生が「図書館が情報センターとして機能を果たすには、見たい時にすぐ手に取れる状況にあることが大切」というお話を、子どもたちにとっての一番のハードルは、「すぐに見ることが出来ない」ことだと改めて実感しました。

当初のコースと変更した会社（グループ）がありました。変更は可能か否か話し合っていましたが、「先生に聞いてみよう」となり先生に確認し、先生から「それもありだからプレゼンできちゃんと説明してみたら」というような言葉を投げかけてされました。そこから息を吹き返したかのように調べている姿がありました。

お友達の何気ない呟きを拾いあげ 発展していく姿もありました。

お友達の何気ない目線や言動に心を寄せられる優しい生徒さん達ですね。

先生も生徒さんの探究心を上手に引き延ばされる言葉掛けをタイミングよくされていて生徒さんの生き生きされた表情から先生とのつながりを感じ、和ませていただきました。

資料がたくさんありました。「インターネット情報は範囲が広すぎてそれ故に探すことができない。そこに 本があると 本もあるよと言える・本に手をだす」と小林指導主事さんがおっしゃっておられました。本時でも 本を手にする姿がありました。

「本もあるよ」と言える環境にすることが大事ですね。学校司書から先にアプローチすることに心がけたいと思いました。ありがとうございました。

(2)講演会

先生の作品は身近な生活をテーマにされているので子供達に人気で、講演が終わって早速読み聞かせをしています。今日も読み聞かせ中、子供達が一緒に声を出して反応したり、シーンとなって聞き手で集中したりと、本の中に入り込んでいました。クスリと笑えたり、えーそんな展開?なるほど…と。心が暖かくなります。考えもします。スーッと心に入ってきます。先生が今回読んで下さり、心地よく、今後の読み聞かせの参考になりました。何冊もお読みいただいて長い時間だったのにあっという間でした。先生の様な読み聞かせが出来るのはいつになるだろか…がんばります。

先生の絵本は子供たちのこころへ届きやすく。たくさん読み聞かせさせていただいております。やさしいこころが、絵本からこどもたちへ広がっていくことがよくわかります。これからもどうぞたくさんの本をたのしみしております。今日は本当にありがとうございました。

くすのき先生のことを行じ上げない時に、息子の小学校1年生、親子参観で七夕かざりと一緒に作る活動があり担任の先生が「おこだでませんように」を読み聞かせしてくれました。言葉がまっすぐに伝わってきて、息子の気持ちを代弁してもらった気がして涙が出ました。

学校司書として、先生の本は子どもにしっかりと、思いを伝えたいと思う時は、どの学年でも読み聞かせさせてもらっています。先生の講演を聞いて、コミュニケーション力の話が、心に残りました。相手の気持ちを察する、慮る、思いやることのできるこが多く育つ、優しい世の中になるように、私もできる限りのことをしていきたいなと思いました。そして、作品の相関図があることに驚きました。子どもたちと一緒に、相関図で、読み深めてみたいと思いました。

先生の読み聞かせの声がとても心地よかったです。今回お話を聞きできて、本当に良かったです。ありがとうございました。

心に染み入る講演でした。今日、学校で早速図書館司書の先生に先生の講演会について話しました。先生の作品にはたくさんのメッセージが込められていました。先生の温かな声で読み進んでいく絵本にどんどん引き込まれ、登場人物に感情移入しながら聞かせていただきました。本校の図書館にも先生の著作をたくさん読んでいただき、そのどれにも涙が出て困りました。オンラインであっても、作者ご本人の声にのせて力強く届きました。自校にもくすのき先生の作品はたくさんありますが、先生の思いを知り、隠されたヒミツも分かり、これからもっと子どもたちと一緒に読んでいきたいと思いました。80億分の1の力が世界を良くしていくことも、今の自分にとても響きました。目の前の人のこと、そして世界中の人のことを考えて1日1日を生きていこうと思います。今日は数々の素晴らしい作品と、ご示唆に富むお話をありがとうございました。本がたくさん入っています。子どもたちや保護者の方にも紹介していきたいと思います。絵本カレンダーや相関図も参考にしながら絵本を読み深めていきたいです。

1.1 本大会収支報告書

収入 120,000円 (県図書館協会より)

支出 120,000円 (講演代100,000円 会場校研究費10,000円×2)